

第 20 回 Jichi Joy Café 開催結果報告



2025 年度テーマ

キャリア継続とスキル向上の両立支援

2025 年 6 月 18 日（水）に「第 20 回 Jichi Joy Café」を今回も Zoom にて開催しました。

開催内容

上田真寿先生の司会のもと、小形幸代副センター長の開会のことばに続き、岸本恵美先生による「皮膚科医 26 年 いま私が思うこと」をご講演いただきました。その後は参加者との質疑応答、さらに大槻副学長からのお言葉をいただき、最後に石川由紀子センター長の閉会のことばにて終了となりました。

今回は 26 名の方にご参加いただきました。皮膚科の方を中心に多くの方に興味を持って頂けたのではないかと思います。

◇参加者データ

性別	人数
女性	20
男性	6
合計	26

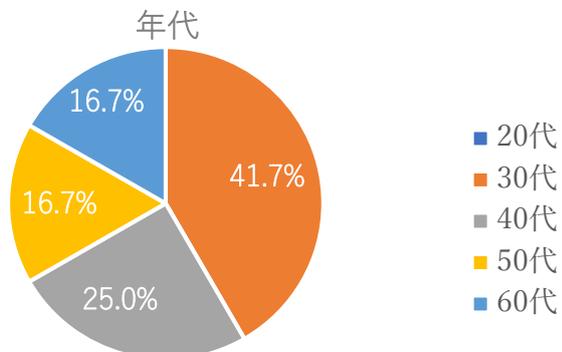
職種	人数
医師	9
教員(基礎系)	3
教員(臨床系)	6
教員(看護系)	0
看護職	1
医療技術職	1
事務職	1
学部学生	1
大学院生学生	2
その他	2
合計	26

これからも Jichi Joy Café では、働き方の多様性について幅広く情報を提供していきたいと考えております。

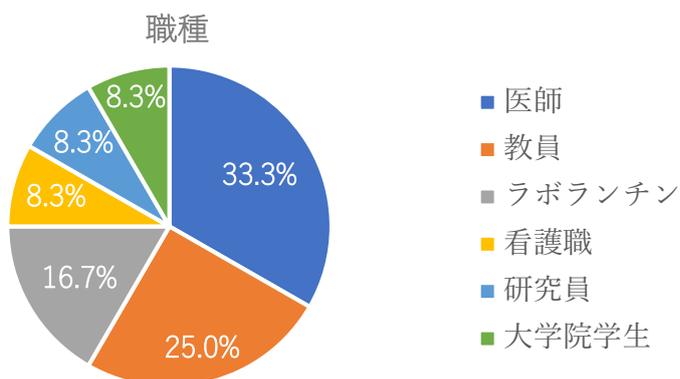
開催後アンケート

◆参加者アンケート回答者データ（回答数：12）

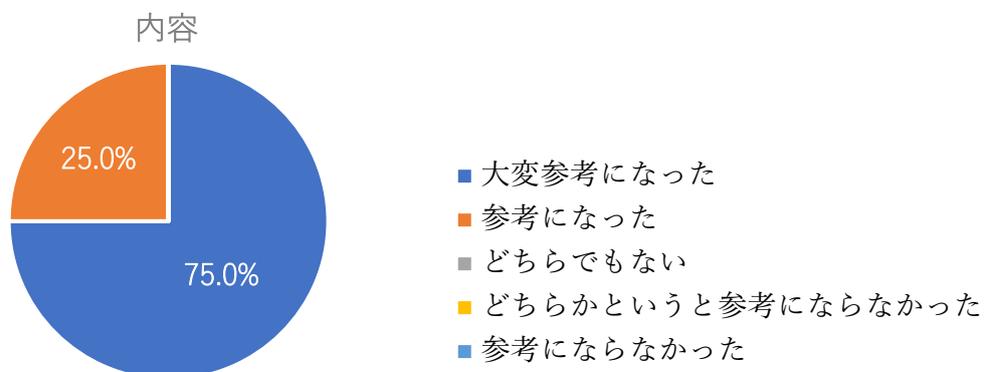
Q1：ご自身の年代を選択してください。



Q2：職種を教えてください。



Q3：イベントの内容について当てはまるものをお知らせください。



◆岸本恵美先生の講話「『皮膚科医 26年 いま私が思うこと』～学術活動と家庭の両立～」で参考になったことや印象に残ったことを教えてください。

- ・モチベーションを保ちながら子育てと仕事の両立するための強さやしなやかさを持ち合わせた方という印象です。すてきなお話ありがとうございました
- ・完璧でなくていいという言葉、気品と智徳の教え、物事を受け入れること
- ・素晴らしいバイタリティ溢れるお話を伺い、感服いたしました。
- ・岸本先生の複数人子供を育てたい、死ぬまで働きたい、という強い意志とそれに向かって進む力、そして何か起きた時も受け入れて前を向く力に、元気を頂きました。
- ・仕事をしながら家庭を完璧にこなすことはできないということを先生のような方から言っていただき安心しました。
- ・何でも前向きにとらえている姿勢、苦労をそう感じない楽しみながら邁進されている事や妥協ではなくご自身の望む道を選択していることに感銘を受けました。また、海外での生活が子育てや家族の繋がりに好影響を与えたのかと推察される部分もあり羨ましくも感じられました。
- ・臨機応変に働き方を調整して、4人お子さんを育てていらっしゃる事が励みになりました。また、自治医大で非常勤という立場で、ご実家などでも働きつつ、研究を続けられている方がいらっしゃるというのをはじめ知り参考になりました
- ・夫婦共に働きながらお子様4人を育てるというのは並大抵のことではないと思いますが、その中でも一貫して「読み聞かせをする」ということを10年もの間続けてこられたのは本当に素晴らしいと思います。私も二人子供がいますが、日々家事や子供の対応に追われ、なかなか読み聞かせをじっくりできていなかったと反省しました。色んな本に触れてもらえるように、本棚の充実や本を読むことの習慣化を目標にしつつ、日々の読み聞かせからまずは取り組んでいきたいと思います。大変参考になりました。
- ・困難を乗り越え両立できるのは、強い信念があつてこそだと感じました
- ・岸本先生のお話を伺って、完璧を求めないことは大切だと感じました。お子さん方のイベントや仕事の調整など、すごく大変だったのではないかと推測します。岸本先生だったからこそ、乗り越えられたのではないのでしょうか。
- ・色々なことを乗り越えながらも、仕事、研究、そして家族に対する真摯な姿勢と謙虚さ、優しさや力強さが、今日の先生のご活躍に全てつながっている、ということを感じました
- ・家庭と仕事の両立や働き方、子育ての方針など、とても参考になりました。

◆『キャリア継続とスキル向上の両立』のためには、どのようなことが必要か教えてください。

- ・周囲の環境（人、モノ、カネ）要因は必須条件ではないかと思えます
- ・家族・職場の協力（助け合い・お互い様の雰囲気）
- ・前向きにとらえて対応すること、と教えていただいた気がします。
- ・小さな目標を持つこと、人とのつながりが大切だと思います。
- ・周りに頼ること、利用できる制度は使うこと

- ・働き方の工夫。当たり前と言えば当たり前ですが、常勤、非常勤、時短勤務取得、臨床、研究など自分に合わせた選択が必要と感じます。加えて、諦める事と追及するところの取舍選択。最終的には、制度頼りではなく自分自身のデザインの仕方が重要なと感じます。
- ・自分としては、子供ができて忙しくなっても、常勤で臨床もしながら研究も続けられる道を模索したいと思います。自分で工夫できる点としては岸本先生のおっしゃっていたような家事の外注、ベビーシッター、根性や、研究内容の調整、などになると思います。また、自分も上司や周囲には恵まれていると思うので、繋がりなども大事にしていくことが重要だと感じました。組織としてあるとありがたいのは、入院患者の急変対応の当番制の整備、子育て中ではない医員に負担が片寄らない配慮、産後フルタイムで復帰する場合のポストにおいて子育て中ではない人よりも確保が不利にならない仕組み、昇任への産休育休の影響の明確化、などがあるかと思いました。また、いろいろな院内のキャリアに関するサポート情報へのアクセスがしにくい印象があり、その辺りももっとわかりやすいと良いです。
- ・育児・介護などのライフイベントと並行しながらキャリアを継続し、スキルを向上させていくためには職場・家庭の協力が必須です。今回のお話の中にもありましたが、相互の感謝や労い、助け合う姿勢が大事なのだと思います。ただ、実践的には日々限られた時間の中で仕事、育児、家事を両立していくために数々の tips（例えば今回のお話で言えば掃除の外注やお掃除ロボット、食事の時短など）も大事なので、似た環境の人たちで相互に交流し、情報交換することの意義は大きいように思います。
- ・本人のモチベーション 家族、職場の理解と協力
- ・細々でも継続していくことが大切だと思います。
- ・仕事や研究に対する真摯な姿勢と、やりとげるといふ強い意志と綿密な計画、家族や職場における相互の協力だと思います。
- ・向上心と周囲への感謝が必要だと思います。

◆「Jichi Joy Café」ご参加の感想や、今後に向けてメッセージがございましたらお書きください。

- ・仕事と家庭の両立は働く女性にとって大きな課題なので、みなさんがどのように両立されているかを伺える JoyCafe は、とても参考になり励みになりました。
- ・いつも有意義な講演を企画していただきありがとうございます。
- ・初めて参加させて頂き、大変興味深く有意義なお話しありがとうございました。
- ・とても勉強になりました。また時間がありましたら参加させていただきたいと思います。ありがとうございました。
- ・いつも時間が合わずに参加できませんでしたが、今回参加でき、参考になることがたくさんあり、有意義な時間でした。今度、内科系でフルタイムで働いている先生などいらしたら、お話うかがってみたいです。
- ・今回初参加でしたが、非常に充実したトークとディスカッションで、大変勉強になりました。また次回も楽しみにしています。どうぞ宜しくお願いいたします。
- ・活動的なお話を大変ありがとうございました。ますますのご活躍をお祈り申し上げます。
- ・後日配信や追っかけ再生等があると嬉しいです。